

考え図をかいて、文しょうもんだい名人になろう

単 元	ふえたり へったり, かけ算	対象学年	2 年
ね ら い	文章題を読む, 図をかく, 立式をする という段階を踏んで常に文章題を解くことで, 文章問題を正確に解くことができるようにする。		

1 準備するもの

ノート・鉛筆

2 学習のしかた

- (1) 年度当初にノートの書き方見本をノートの表紙裏に貼らせ, 文章問題を解くときは, 図をかくことと, おおまかな図のかき方を知らせる。
- (2) 文章問題の学習のときは, まず問題の大切な箇所に線を引く。問題を解く上で大切だと思う言葉や数字の部分なるべく短く引く。分かっていることは, 直線, 聞かれていることは, 波線で引かせる。

4がつ 15にち 月ようび ()

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	+	-
2	1. ひょう・グラフと時計											
	1. あそびしらべ											
	①											
	3 + 7 = 10			10 + 9 = 19								
	②											
	ず ○○○○○○○○○○○○○○○○○ ← ○○○○											
	しき 12 + 4 = 16											
	こたえ 16こ											

色紙を 50まい もって いました。
15まい つかいましたが, あとで
 お姉さんから 7まい もらいました。
 色紙は いま 何まい
ありますか。

問題文に線を引く (上) P103の④

- (3) 問題文をよく読んで図をかく。

児童Aがかいた考え図

テストの際にも図をかいて問題を解いている児童Bの答案用紙

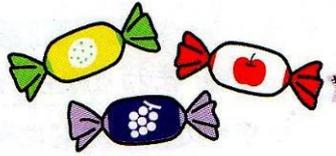
3. シールを 32まい もって いました。弟に 2まい もらって, お姉さんから 8まい もらいました。シールは いま 何まい ありますか。
 じゅんに 考える しかたと まとめて 考える しかたを それぞれ しきに かいて みましょう。

しき	じゅんに 考えると	$32 + 2 = 34$	$34 + 8 = 42$
	まとめて 考えると	$2 + 8 = 10$	$32 + 10 = 42$

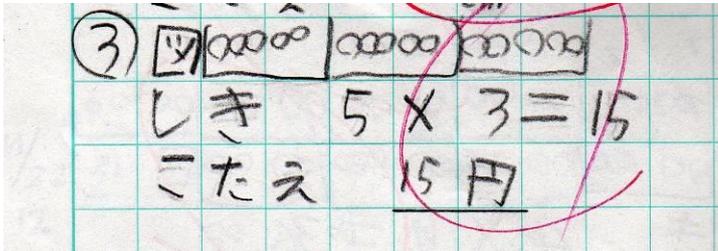
答え 42 まい

○かけ算の文章問題の例

あめを 3こ 買います。
 1こ 5円の あめを 買うと、
 何円に なりますか。



問題文に線を引く (下) P17の③



児童Cのノート

5円を5つの○で表わして図をかいているため、基準量が後に示されていても、間違えずに立式できている。

[5] ながいすが 5つ
 あります。1つのいすに
 3人ずつ すわります。
 みんなで 何人 すわれますか。



考え方 (10)

しき $3 \times 5 = 15$

答え 15 人

児童Dの答案用紙

基準量が後に示されている問題。いすを四角形で、人を○で表わしている。

[5] あめの はいった
 6はこ あります。
 1はこには 7こ
 はいって います。
 あめは みんなで 何こでしょう。



考え方 (10)

しき $7 \times 6 = 42$

答え 42 こ

児童Eの答案用紙

基準量の7こを工夫して表わしている。

3 学習上の留意点

- ・ 時間はかかるが、手順を踏んでなるべく多くの問題を解くことが習熟のポイントとなる。問題を解く際に教師が「線を引きましょう。」「図をかきましょう。」と繰り返し言葉がけをし、文章問題を解くときは、問題文に線を引いたり、図をかいたりすることを当たり前のようにする。

4 学習の効果

- ・ 手順を踏んで問題を解くことで、問題をよく読み、考えて解くことを意識するようになる。
- ・ かけ算では、かける数とかけられる数が反対になってしまう児童がいるが、図をかきながら学習を進めるうちに間違いが減ってくる。